

共産党大会 志位委員長「野党連合政権は焦眉の課題」

NHK1月15日 18時09分

共産党の党大会が、民進党などの代表者が初めて出席して、15日から始まり、志位委員長は「戦後初めて、焦眉（しょうび）の課題として、『野党連合政権』を作る可能性が生まれている」と述べ、野党4党による政権の実現を目指す考えを強調しました。続きを読む

共産党が最高意思決定機関の党大会を開くのは3年ぶりで、15日から静岡県熱海市で始まった大会には、地方支部の代表者などおよそ1000人が参加しました。

初日の15日は、志位委員長が新たな活動方針案となる大会決議案を提案し、次の衆議院選挙に関連して、「野党4党は『安倍政権打倒』を共通の目標としており、打倒したあとの政権構想を示す責任がある。政権問題で前向きの合意を作ることは、野党と市民の共闘を『本気の共闘』に発展させるうえで、決定的に重要だ」と指摘しました。そのうえで、志位氏は「日本の政治で、戦後初めて、先々の展望ではなく、焦眉の課題として、自民党政権を本格的に転換する『野党連合政権』をつくる可能性が生まれており、可能性を現実のものにしようではないか」と呼びかけました。

また、大会には共産党の招きに応じて、民進党、自由党、社民党の代表者が初めて出席しました。

このうち、民進党の安住代表代行は「わが党と共産党には、隔たりがある政策があるのは事実だが、真摯（しんし）に話し合い、一定の幅の中に寄せ合うことは可能だ。できるかぎりの協力を行うための話し合いを積極的に進め、きたるべき決戦に備えたい」と述べました。

また、自由党の小沢代表は「野党が緊密に真剣に共闘していかないと、政権交代を実現することはできない」と述べたほか、社民党の吉田党首も「野党4党が固く連携して、安倍政権に対し、衆議院の解散・総選挙に追い込んでいきたい」と述べました。

決議案は討議を経て、最終日の18日に決定されることになっています。

共産、党大会に他党の党首級を招待 95年の歴史で初

朝日新聞 2017年1月15日 21時28分

共産党は15日、静岡県熱海市で3年ぶりに党大会を開き、1922年の結党以来95年にして初めて他党の党首を招待、民進、自由、社民各党の幹部が出席した。「野党連合政権」を掲げ、昨夏の参院選に続く共闘の加速をめざす大会決議案を採択し、志位和夫委員長と小池晃書記局長の続投を決める。

志位氏は「改憲勢力3分の2体制」の打破を掲げた決議案を報告。日米安全保障条約や自衛隊について「共闘に独自の立場を持ち込まない」とする柔軟路線を打ち出した。共産は衆院小選挙区に265人を擁立、うち197区で民進と競合しており、共通公約の策定などを条件に、大半の選挙区で候補の取り下げを検討することになる。

民進の安住淳代表代行は「安全保障、エネルギーなどの政策で完全に一致は難しいが、一定の幅に寄せ合うことは可能。その先に候補者の一本化など国民が納得する選挙協力の形が見えてくる」とあいさつ。自由の小沢一郎代表も「参院選を共闘の第一歩とし、二歩も三歩も前進させ、緊密な協力関係で政権交代を実現しよう」と訴えた。

決議案には、良好な関係にある中国共産党を名指しして、「大国主義・覇権主義の誤りがあらわれている」と批判する文言も盛り込んだ。党大会は4日間の日程で、決議案と人事案は最終日の18日に採択する。

民進・自由・社民の党首級が共産党大会に初参加 衆院選へ連携強化

東京新聞 2017年1月16日 朝刊



共産党大会で、民進、自由、社民の3野党幹部らと氣勢を上げる志位委員長（前列左から2番目）＝15日午後、静岡県熱海市で
共産党の第27回党大会が15日、静岡県熱海市の党施設で始まった。民進、自由、社民各党の党首らが参加し、次期衆院選に向けて連携を強める考えで一致した。共産党大会に他党幹部が出席するのは1922年の党創設以来初めて。志位和夫委員長は野党共闘について「大局的に後戻りすることは決してない」と引き続き推進することに意欲を示した。
（我那覇圭）

大会には、民進の安住淳代表代行、自由の小沢一郎共同代表、社民の吉田忠智党首のほか、参院会派「沖縄の風」の糸数慶子代表が出席。志位氏は「歴史的な意義を持つ大会だ。野党共闘はうまくいくかという心配の声も寄せられたが、今日そろった姿が前途の明るさを示した」と強調した。

安住氏はあいさつで、安全保障政策などで「共産党と考え方に隔たりがあるのは事実だが、一定の幅の中に政策を寄せ合うことは可能だ」と述べ、連携に向けた協議を積極的に進めると約束。小沢氏は「緊密な協力関係を構築して、自公政権を打倒しよう」と呼び掛け、吉田氏は「選挙協力の協議が加速すると確信している」と述べた。



共産党大会は三年ぶりで、十八日まで。

共産党大会、共闘へ本気...民・由・社幹部初出席

読売新聞 2017年01月15日



共産党大会で野党結束をアピールする（右から）吉田社民党党首、小沢自由党共同代表、志位共産党委員長、安住淳民進党代表代行ら（静岡県熱海市で）

共産党が「本気の共闘」を実現するために民進党に求める3項目と検討状況	共通政策作り		民進党が方針を変えて、今月から実務者協議を開始。原発政策で一致できるかが焦点
	相互推薦・支援		民進党の否定的な姿勢に、共産党は「推薦手続きがなくても支援は可能」とややハードルを下げる
	野党連合政権構想		民進党が共産党との政権を拒否する姿勢崩さず。共産党も賛同を共闘の条件とはせず

共産党の第27回党大会が15日、静岡県熱海市の党施設で開幕し、志位委員長は次期衆院選に向けて他の野党と「本気の共闘」を実現させると強調した。

民進、自由、社民3党も党首らが初めて出席するなど共闘に前向きな姿勢を示したが、民進党は共産党の求める政権構想の策定などに否定的な姿勢を崩していない。

志位氏は「野党と市民の共闘をさらに大きく発展させ、安倍政権を倒すありとあらゆる努力を傾ける」と決意を表明した。

民進党の安住淳代表代行は「この舞台に立っていることに歴史的使命を感じる。（民進、共産両党の）違いを強調するのではなく、一致点を見いだす度量と決意で敵に立ち向かう」と語り、連携を約束した。

自由党の小沢共同代表は「野党が協力関係を構築し、政権交代を実現しよう」と呼びかけ、社民党の吉田党首も「選挙協力の協議が加速すると確信している」と述べた。小沢氏は日程を変更し、急きょ駆けつけた。

志位氏、野党共闘「後戻りさせぬ」＝共産党大

会開幕、民進幹部ら初出席

時事通信 2017.1.15



第27回共産党大会で手を取り、「がんばろう」の声を上げる（壇上右から）社民党の吉田忠智党首、自由党の小沢一郎代表、志位和夫委員長、民進党の安住淳代表代行ら＝15日午後、静岡県熱海市

共産党の第27回党大会が15日午後、静岡県熱海市の党研修施設で開幕した。次期衆院選に向けた野党共闘について、志位和夫委員長は「後戻りすることは決していない。いつ衆院解散となっても勝利するため共闘態勢をつくり上げる」と強調。野党統一候補の相互支援構築と共通政策の合意を目指す考えを示した。また、民進、自由、社民3党の幹部が初めて出席してあいさつし、共闘強化に前向きに取り組む考えをそれぞれ表明した。

共産「本気の共闘」迫る＝民進は及び腰

民進党の安住淳代表代行は「できる限りの協力を行うための話し合いを、積極的かつ具体的に進めていくことを約束する。一日も早く態勢を整え、来るべき決戦に備えたい」と明言。共通政策に関しても「ある一定の幅の中に寄せ合うことは可能だ」との認識を示した。

第27回共産党大会で、あいさつする自由党の小沢一郎代表。左は志位和夫委員長＝15日午後、静岡県熱海市

自由党は当初、森裕子参院会長の出席を予告していたが、小沢一郎代表が登壇。「野党がもっともっと緊密な協力関係を構築し、政権交代を実現しようではないか」と訴えた。社民党の吉田忠智党首も「真の共闘を達成しなければならない」と主張した。

一方、志位氏は「野党が本気で共闘を進めるなら、野党連合政権の問題を避けて通ることはできない。前向きの合意は決定的に重要だ」と述べ、かねて提唱している連合政権構想に改めて意欲を表明。衆院小選挙区の対応に関しては「相互推薦が最も望ましいが、条件によっては（より緩やかな）相互支援もあり得る」と述べ、必ずしも推薦にこだわらない考えを示した。

共産党大会の開催は2014年以来3年ぶり。会期は4日間で、最終日の18日に当面の活動方針となる大会決議案を採択する。「衆院比例代表で850万票獲得」との目標などを盛り込む。

18日には幹部人事を決定。早期の衆院解散・総選挙も念頭に、志位氏と小池晃書記局長は続投する見通しだ。

共産党大会が開幕 野党の「共闘路線」アピール

日経新聞 2017/1/15 13:16



共産党大会で手を取り合う同党の志位和夫委員長、民進党の安住淳代表代行、自由党の小沢一郎代表、社民党の吉田忠智党首ら（15日、静岡県熱海市）

共産党の第27回党大会が15日午後、静岡県熱海市の党研修施設で始まった。民進党の安住淳代表代行ら他の野党幹部が初めて出席し、あいさつ。次期衆院選に向けた安倍政権に対抗する野党の「共闘路線」をアピールする。会期は4日間で、最終日の18日には「野党連合政権」の樹立を目指す方針などを盛り込んだ大会決議案を採択する予定だ。

共産党が党大会を開くのは2014年1月以来3年ぶりで、幹部人事なども決める。志位和夫委員長と小池晃書記局長は続投する見通しだ。

大会決議は当面の党の活動指針となる。前回の党大会で「『自共対決』時代の本格的な始まり」と位置付けていた政治構図に関し、「『自公と補完勢力』対『野党と市民の共闘』」の新しい時代が始まったと強調。次期衆院選で「改憲勢力3分の2」を打破し、与党を少数に追い込むことを掲げる。

共産党大会に野党3幹部

共産党大会に野党3幹部

ロイター通信 2017.1.15

共産党の第27回党大会が15日、静岡県熱海市で始まった。志位和夫委員長は、次期衆院選を見据えた野党共闘について「後戻りすることは決してない」として、小選挙区での候補一本化など協力推進をアピールした。民進党の安住淳代表代行や自由党の小沢一郎共同代表、社民党の吉田忠智党首の3野党幹部が来賓として初出席し、それぞれ選挙協力への決意を示した。

共産党によると、党大会に他党の幹部が参加するのは初めて。志位氏は「とてもうれしい。歴史的意義を持つ大会になった」と強調した。

【共産党大会】

共産党大会、初の他党幹部参加 民進など3党…志位和夫委員長「本気の共闘で政権打倒」

産経ニュース 2017.1.15



共産党の第27回党大会で民進、自由、社民3党の幹部が初めて来賓として出席、壇上で手をつなぐ（左から）民進党の安住淳代表代行、共産党の志位和夫委員長、自由党の小沢一郎代表、社民党の吉田忠智党首＝15日午後、静岡県熱海市の共産党伊豆学習会館（酒巻俊介撮影）

共産党の第27回党大会が15日、静岡県熱海市の党員研修施設「伊豆学習会館」で開幕した。大会には民進、自由、社民3党の幹部が出席した。他党幹部が参加するのは初めて。

志位和夫委員長は大会決議案に関する中央委員会報告で「共産党を除くという『壁』は崩壊した」と強調。次の衆院選で4野党の共闘を進め、安倍晋三政権の打倒と将来の野党連合政権の樹立を呼びかけた。

大会には党員約1千人が出席。志位氏は「野党と市民が本気の共闘に乗り出せば、必ず安倍政権を打倒できる」と訴えた。

民進党の安住淳代表代行は「政策に隔たりがあるが、一定の幅の中に寄せ合うことは可能。その先に候補一本化など選挙協力の形がみえてくる」と述べた。志位氏は大会で、次期衆院選の比例代表で850万票を獲得し、選挙区では15の「必勝区」などで党公認候補の勝利を目指す目標を掲げた。党大会の開催は3年ぶり。会期は4日間

志位氏、野党共闘「後戻りさせぬ」＝共産党大会開幕、民進幹部ら初出席

時事通信 1/15(日) 16:59 配信

共産党の第27回党大会が15日、静岡県熱海市の党研修施設で開幕。次期衆院選に向けた野党共闘について志位和夫委員長は「後戻りすることは決してない」と強調し、候補者一本化などの協議を加速させる意向を示した

共産党の第27回党大会が15日午後、静岡県熱海市の党研修施設で開幕した。

次期衆院選に向けた野党共闘について、志位和夫委員長は「後戻りすることは決してない。いつ衆院解散となっても勝利するため共闘態勢をつくり上げる」と強調。野党統一候補の相互支援構築と共通政策の合意を目指す考えを示した。また、民進、自由、社民3党の幹部が初めて出席してあいさつし、共闘強化に前向きに取り組む考えをそれぞれ表明した。

共産「本気の共闘」迫る＝民進は及び腰

民進党の安住淳代表代行は「できる限りの協力を行うための話し合いを、積極的かつ具体的に進めていくことを約束する。一日も早く態勢を整え、来るべき決戦に備えたい」と明言。共通政策に関しても「ある一定の幅の中に寄せ合うことは可能だ」との認識を示した。

自由党は当初、森裕子参院会長の出席を予告していたが、小沢一郎代表が登壇。「野党がもっともっと緊密な協力関係を構築し、政権交代を実現しようではないか」と訴えた。社民党の吉田忠智党首も「真の共闘を達成しなければならない」と主張した。

一方、志位氏は「野党が本気で共闘を進めるなら、野党連合政権の問題を避けて通ることはできない。前向きの合意は決定的に重要だ」と述べ、かねて提唱している連合政権構想に改めて意欲を表明。衆院小選挙区の対応に関しては「相互推薦が最も望ましいが、条件によっては（より緩やかな）相互支援もあり得る」と述べ、必ずしも推薦にこだわらない考えを示した。

共産党大会の開催は2014年以来3年ぶり。会期は4日間で、最終日の18日に当面の活動方針となる大会決議案を採択する。「衆院比例代表で850万票獲得」との目標などを盛り込む。

他の野党幹部も招かれ 共産党が3年ぶりの党大会

テレ朝 news (2017/01/15 17:55)

共産党は、3年ぶりの党大会を開いています。結党95年の歴史で初めて他の野党の幹部が来賓として招かれ、志位委員長は野党の結束を呼び掛けました。

共産党・志位委員長：「安倍政権を倒し、自民党政治を終わらせ、野党連合政権をつくるために、ありとあらゆる努力を傾ける決意を表明するものであります」

共産党大会には民進党の安住代表代行、自由党の小沢代表ら野党幹部が初めて出席し、安住氏は「総選挙での協力に向けた話し合いを積極的に進める」と連携を約束しました。